

令和6年度第4回米子市保育所等給食運営委員会会議概要

- 1 開催日時 令和7年3月17日（月）午後2時00分～午後2時50分
- 2 開催場所 ふれあいの里（米子市福祉保健総合センター） 4階 研修室1
- 3 出席者 （敬称略）
[米子市保育所等給食運営委員会委員]
矢野委員、新宮委員、藤光委員、松本委員、石委員、隠樹委員、堀部委員
（欠席者：梁川委員、大前委員、小田委員）
[事務局]
枡本担当課長補佐

4 会議の次第

- 1) 開会
- 2) 議事
 - （1）令和6年度下半期保育所等給食調理等委託業務評価について
 - （2）保育所等給食調理等業務実施状況について
- 3) その他
- 4) 閉会

5 議事の概要

（注 資料説明は省略してあります。また、発言は要約してあります。）

事務局 「資料1」を説明

委員長 質問等あるか。

委員 特になし

事務局 「資料2」を説明

委員長 質問等あるか。

委員 A ジャがいもをメイクインから男爵に変えたということだが、男爵の方がえぐみはないものなのか。

事務局 今回はジャがいものメイクインでえぐみが出た。保健所にも確認したが、これまで事例がないとのことだった。生育不良の小さい芋にソラニンが含まれることはあるが、今回はそこまで小さい芋ではなかった。

委員 A 異常気象、寒暖差の影響で、野菜などの発育不良など、これまでになかったことが起きている。調理する方も大変である。

事務局 園長先生に聞いてみるが、今までの検食で違和感があった事はあるか。検食は大切だと改めて感じた。稀なこととはいえ、これが出てしまうとよろしくない。

委員長 今回は、食べた瞬間に分かる感じだったか。

委員 B 3/1は、何回か食べて確認したが、ねむの木ジャがいもは大丈夫だった。3/5は、離乳食の検食でえぐみを感じた。離乳食のジャがいもは中止して、昼食は別業者に納品してもらい提供できた。芽も出ていない、色も変わらないので、気を付けようがない。いつも別茹でて調理することは難しい。カレーであれば気付きにくかったかもしれない。

委員 A 食べて体に害がないということが分かっているならば、安心だが。これは、保健所に調べてもらえるのか。

- 事務局 今回は、食材納入業者に調査を依頼した。
- 委員 B このようなことがあり、検食で食材一つ一つ確認している。
- 委員 C 仮に検食をスルーしてしまった場合、例えば児童が苦いと訴えて、口から出してしまったとすると、無理に食べさせなくてもいいということなるのか。
- 委員 B 即中止する。3月1日もねむの木保育園では、数人で検食して、大丈夫だと確認したが、怖かったので、園児が少しでも口から出したり、変な顔するようなら、すぐに給食を中止することになっていた。
- 委員 A 米子市の給食は、先生方、職員方の志が高いので、無理に食べさせることもないし、少しでもおかしいことがあれば、すぐに給食を止めるなど、対応が確立されている。安心安全である。
- 委員 C 苦味で認知できたのはある意味よかった。
- 委員 A 成分が気になる。次回あれば成分を確認してほしい。
- 委員長 議事はこれで終了。事務局からその他についてあるか。
- 委員 A 感想など一言ずつ。
- 委員 C 食品関係で業者サイドの支援をする機関で仕事をしている。ソラニンの確認までは難しいが、必要があれば物質の定量をすることもある。多少関連があり関心があって参加した。子どもが関わるサービスの内容だが、全体でこのような形でされているのかと勉強になった。大変、心強く感じた。
- 委員 A 毎年、保護者の方をお願いしていることがある。米子市の給食はレベルが高く誇れるものである。限られた資源の中で子どもの育ちをきちんと計算されて出されている。園の職員、事務局など全員の頑張りで守られている。保護者の皆さんは深く関わることはないと思うが、機会があれば、保護者へ周知してほしい。今年は業者との意見交換会がなかったが、ここができていないということではなく、感謝の気持ちを伝えると、来年に向けて心持が違う。来年度は実施してほしい。
- 委員長 この会は1年生だったが、正直すごいと思った。あれだけやっているとは知らなかった。調理業者は当然すごいが、園長、保育士さんが大変であると思う。その大変さの中でアレルギー対応など守られていて、他の事業でも保育を展開しているが、断トツである。一人一人の安全が守られている。
- 委員 E 委託業者の方は、細かいところまで気を付けてくださっている。保育園の中の同じチームとして、気が付いたところは意見を出し合い、お互いが声をかけ合う関係性だからこそ事故が防げていると思う。これからも同じチームとして事故がないよう気を付けていきたいと思う。
- 委員 D いつも業者の方は精神削りながらしてくださっているの、感謝しながら給食をいただいている。今回のじゃがいもの件は、初めての経験だったが、情報共有することが大事であることや検食の大切さを改めて感じたことが今年の大きな収穫だった。これからもいろいろあると思うが、皆で情報共有しながら頑張っていきたい。
- 委員 B 視察を初めてさせてもらった。園にいたので給食室の様子を見る事はあるが、給食ができる過程をずっと張り付いて、見ることはなかった。気を遣ってもらっていて、安心安全でおいしい給食ができているのが分かって、ありがたかった。委託の園で、給食室の職員は、市職員ではないが、卒園児に手作りのプレゼントを

あげてもよいかと紙のネックレスを作ってくださいました。人と人なので、そういういい関係で、子どもの事を一緒に考えていけたらと思う。

事務局 すごく丁寧に見ていただいている感謝の思い。昨年だったか、某山陽方面の自治体が給食調理業務の視察に来られた時、ホームページで給食運営委員会の議事録も見ておられ、すごく丁寧にしておられると言われた。それほど丁寧に異物混入などないようにしているので、今後も続けていければと思う。

委員 F 今年度も直営施設は月 1 回、委託施設は年 1 回調理施設の施設点検を実施している。そのうち 3 園は、保健所の立ち入り検査に同行という形で実施し、私自身も勉強させていただいた。保健所からも衛生面で問題なく実施できているとのことだった。今後も引き続き実施し、安心安全でおいしい給食提供に努めていく。

事務局 本年度の会はこれをもちまして終了となる。
閉会